

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	未来創政の会 矢崎俊秀	1. 広河原山荘新築 工事における建 築設計業務の財 務会計処理は適 正か	<p>(1) 本年3月議会において、総務部長は、広河原山荘の実施設計等に係る事務および財務会計処理は適正にあることを確認したと答弁している。そこで、適正と判断したのはどのような根拠に基づくものか。</p> <p>(2) 広河原山荘新築工事における設計業務に係る疑義については、平成29年度に随意契約で発注された「実施設計業務」が対象となっているが、「随意契約」で受注した業者は、その前年度に「基本設計業務」を受注している。そこで、基本設計の建物の規模、委託期間、検査内容、支払い期日等についてどのように実施したのか。</p> <p>(3) 市が策定した実施設計費の一括計算の設計書では、総額約2,977万円である。このうち、基本設計費については、国土交通省が定めた設計業務に関する業務細分率で基本設計の業務は27%と規定されているので、基本設計費は約800万円余りとなる。従って、市が減額した410万円との差は、税抜きで約390万円余りとなり、この390万円余りが補填されたことになる。そこで、基本設計費は支払い済みにある中で、この補填の目的や理由はどのような考えに基づくものか。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>松野昇平</p>	1. 介護制度とコロナ禍における介護体制について	<p>(1) 在宅で安心して老後を過ごすためには、看護小規模多機能型など多様な介護サービスを整備していく必要があるが、市の所見は。</p> <p>(2) 看護小規模多機能型やグループホームなどを対象とした、宿泊費や食費などの助成制度や、事業所支援について市の所見は。</p> <p>(3) 今回の介護保険法改正に伴い、8月からの補足給付の見直しがされた。現場や利用者の状況をいかに捉え、対応していくのか。</p> <p>(4) コロナ禍において、介護現場に様々な影響が出ている。いかに感染拡大を抑え、介護現場への人的・物的・経済的支援を強めていくのか。</p>
		2. 学校給食費無償化について	<p>(1) 学校給食費無償化は、これまでも、本市と同規模の自治体で実施されていることなどを示し、実施を求めてきた。これに対し、金丸市長も子育て支援策として、有効性を示している。山梨県内では、昨年の富士吉田市につづき、今年度からは新たに甲州市が加わり、実施自治体は4割を超えてきた。 南アルプス市でも実施すべきと考えるが、市の所見は。</p> <p>(2) コロナ禍における子育て世代への支援として昨年4月から9月まで実施していた学校給食費無償化。その後の状況を見定めて、再実施も検討するということがあった。北杜市でも検討しているとのことだが、現在の感染状況をふまえ、再実施すべきと考えるが、市の所見は。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	南風 藤田亜由未	1. 学校へ行かない・行けない子どもたちへの本市の対応について	<p>(1) 近年、全国的に学校へ行かない・行けない子どもたちが増加している。本市も同様に増加傾向にあるが、市として今後、子どもたちや保護者へ向けて、どのような支援に取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 本市では、学校へ行かない・行けない子どもたちへの対応の一つとして「あるぷすWing」があるが、現在の利活用の状況は。</p> <p>(3) 本市では、学校へ行かない・行けない子どもやその保護者たちのために、フリースクールや居場所づくりを行っている団体がある。学校へ行かない・行けない子どもたちに対しては、学校や保護者だけではなく、地域全体でサポートを行っていく必要があると考えるが、本市としての支援策を講じる考えは。</p>
		2. 情報の発信方法と新たな発信ツールについて	<p>本市における情報の発信について、市民の皆さんより「わかりにくい」「リアルタイムで情報が取りにくい」との声が上がっている。市民の皆さんにとって市からの情報は生活に直結するものであるため、より積極的でわかりやすい情報の発信が必要と考える。市民の皆さんへの情報発信はもちろん、市民の皆さんとのコミュニケーションを取るためのツールのひとつとして、時代に沿った新たな情報ツールを導入する考えは。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	新政南アルプス 有野一成	1. 幹線道路等の整備について	(1) 市内の幹線道路等の整備は、整備方針と計画に基づいて進んでいると考えられるが、現在までの整備状況は。
			(2) 幹線道路等の整備は、今後どのような方針・計画に基づいて整備して行くのか、市の所見は。
		2. 市内2つのインターチェンジの位置付けと役割等について	(1) 本市には中部横断自動車道のインターチェンジが2つあるが、本市にとってこの2つのインターチェンジの位置付けと役割について、どのように考えているのか、市の所見は。
			(2) 南アルプスIC周辺の土地利用については、新産業拠点整備事業や、また、「南アルプスIC周辺の土地利用に関する調査研究」も示された。一方、白根IC周辺の土地利用については、今後どのように検討していくのか、市の所見は。
(3) 観光道路としての南アルプスICからエコパ伊奈ヶ湖方面、また、白根ICから芦安方面へのアクセス道路の整備が遅れていると感じる。観光振興を重点施策としている中で、市の今後のアクセス道路等の整備方針や計画は。			
(4) 2つのインターチェンジとインターチェンジ周辺の商業エリアや施設を広域避難所に使用する等、災害時にどのように使用できるか等について検討する必要があると考えるが、市の所見は。			

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	躍進会 戸栗 淳	1. 芦安グランドデザインについて	(1) 平成30年3月に芦安グランドデザインが策定され、本年は4年目に当たるが、人口減少の抑制や地域経済の活性化に向けた策定の結果はどのように表れているのか。
			(2) 平成29年の6月から8月にかけて、山小屋・ペンション・民宿にアンケート調査を行っているが、アンケートの結果はどのように活かされているのか。
			(3) 芦安の人口が減少の一途をたどる中、国勢調査の平成2年に比べ平成7年が611人、平成12年が613人と増加しているが、何が要因として考えられるか。
			(4) 広河原山荘が今年の10月に新築完成に至るが、南アルプス山麓、および芦安の活性化に向けた施策をどのように考えているのか。
			(5) 早川町との交通を結ぶ南アルプス周遊道路トンネル開通工事の進捗状況は。
			(6) 山梨県で南アルプス課を設けて発展を促すという話があったが、どこまで進展しているのか。
			(7) 中部横断自動車道の開通に対して、グランドデザインとの関連性はどのように考えているのか。

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	公明党 齊藤博明	1. 「ふるさと納税」の将来展望について	<p>(1) 寄付金の選択基準が「還元率」から「質の高さ・持続的な交流」へと変わりつつある。これは、ふるさと納税の「モノ消費（返礼品）」から「コト消費（政策・事業）」への移行に他ならない。ふるさと振興室の創設も含め、将来に向けての市の明確なるビジョンは。</p> <p>(2) 山梨学院大学経営学部は地域活性化の実践的な学習の場として本市と連携を結び、年間30回の授業の中で市のふるさと納税の課題を話し合い、解決策の提案を目指しているとの報道があった。連携事業の経緯と目的は。</p> <p>(3) コストパフォーマンスの良い返礼品目当てではなく、自治体の課題解決に寄付者の意思を反映させるガヴァメントクラウドファンディングは、返礼品を頂いて終わりではなく、「応援したい自治体が活性化する過程をみる」、「応援したプロジェクトを確認するために訪れる」など持続的に寄付者と自治体の関係性を創造する。更なる積極的活用を提案するが、市の見解は。</p> <p>(4) 現在、寄付者に対しては、寄付金の使いみちとして6つの「まちづくり」が選択できることになっている。寄付者にも使途が明確に示せ、次年度以降にも必要に応じた事業構築ができるよう、使途別の基金の創設を提案するが、市の見解は。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	日本共産党 南アルプス市議団 名取 泰	1. 特別障害者手当 について	著しく重い障がいがあり、日常生活に 常時特別な介護が必要な20歳以上の方に 支給される特別障害者手当は大変重要な 制度であるが、本市では受給の状況はど うなっているか。さらなる周知が必要と 考えるが、市の所見は。
		2. 河川管理につい て	(1) 平成30年の9月議会で、市内の河川内 で樹木や草木が繁茂している状況を指摘 した際に、これまで以上に定期的なパト ロールと現地調査を実施し、県に対し伐 木・浚渫の対応を要望していくとの答弁 であったが、最近でも改善されていない 状況が見受けられる。市としての認識と 今後の対応は。 (2) 河川の管理については地元自治会等の 協力を得て行なっている所があるが、高 齢化などに伴い、地元管理が難しくなっ ている現状もあると聞く。今後、地元負 担の軽減を図っていくべきと考えるが市 の所見は。

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	南風 櫻田 力	1. 自然災害のリスクと感染症蔓延を意識した住民への避難指示と避難所体制のあり方について	(1) 災害時に市町村が発令していた避難勧告を廃止し、避難指示に一本化する改正災害対策基本法が5月20日に施行された。自然災害のリスクが全国的に高まる状況下で、市民に対して空振りを恐れず早めに行動することを促すことが重要である。市は避難指示をどのように発令し、避難を促し、市民の安全安心を確保する考えか。
			(2) 山梨県が昨年6月に市町村向けに、感染症に対応した「避難所運営マニュアル作成指針」を策定し、各市町村に対し避難所における感染拡大防止の徹底を指示したが、本市において、この指針に基づいた避難所体制はどのように構築されているのか。
			(3) 指定避難所に防災倉庫と備蓄品を設置する事業が昨年から施行されているが、設置した防災倉庫および備蓄品の日常管理と有事の際の運用方法を市はどのように定めて、対象自治会等に周知しているのか。
		2. 通学路の安全対策について	(1) 6月に千葉県八街市で小学生5人が死傷した交通事故を受けて、文部科学省は市町村教育委員会に対し通学路における合同点検の通知を発出しているが、本市における確認状況と結果は。
			(2) ブロック塀が倒壊して2人が死亡した2018年の大阪府北部地震を受けて、文部科学省は学校の敷地内にあるブロック塀の安全性に関する調査と対策を各都道府県教育委員会等に指示し、国土交通省は法令改正により避難路に面した塀の自治体による耐震診断義務化を可能にした。本市においても「ブロック塀等撤去改修事業費補助金制度」を新設するなど、通学路や緊急路の安全対策に努めているが、現時点における市内のブロック塀の危険性はどのような状況にあるか。

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	新政南アルプス 三木 充	1. 若草小学校の改築について	<p>(1) いよいよ本年度から若草小学校の校舎の改築準備に入った。今年の2月の議員説明会にて、校舎改築の説明を受けたが、改めてお聞きする。 本年度は、まず基本計画からスタートしたようであるが、その基本計画でのスケジュールは。</p> <p>(2) 隣接する体育館も校舎と同時期に建設し50年経過している。本年度の新学期が始まり間もなく、床の傷みの為使用不能になり、この夏休みに床の改修を実施したと聞くが、この体育館の今後の対応をどのように考えるか。</p>
		2. 学校防災について	<p>2011年の東日本大震災時の大津波により、宮城県石巻市の大川小学校の児童及び教職員84名が犠牲になった。学校側の避難対応の過失を争う訴訟になり、判決後から学校防災の強化という認識が大きくなった。昨年10月～12月その大川小判決が求めている防災水準達成へ、学校の対策を見直したかのアンケートを、共同通信が全国の市町村を対象に実施し、本県においても27市町村のすべてが回答し、その結果が、本年3月1日の山日新聞の紙面に掲載された。 内容は、「判決確定前から水準達成」が9市町村で33%、「見直し実施中」が7市町村で26%、「今後実施予定」が9市町村で33%、「予定なし」もあるが、本市は、「今後実施予定」の9市町村に入っていた。報道から半年経つがどのように検討したのか。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	新政南アルプス 飯野多恵子	1. 旧若草支所周辺の駐車場整備について	<p>若草保育所移転新築に伴ない、旧若草支所をはじめ若草体育館周辺の駐車場整備について設計業務が始まるが、業務委託に際し、整備の考え方や現在の状況は。</p>
		2. 公共施設の経年劣化への対応と考え方について	<p>楡形生涯学習センターが建築後22年を経過し、経年劣化が見られ、その対応を行っている。</p> <p>今回若草の駐車場整備を計画している中にも、公共施設がいくつかある。また、今後建設が予定されている若草小学校にも体育館がある。</p> <p>建築物の経年劣化は避けては通れない事実だが、今後、公共施設のあり方や保守や管理など市の考え方は。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 1	新政南アルプス 保坂 健	1. 甲西農村環境改善センターの老朽化について	正面玄関の手前階段の断裂、外壁の剥落、室内のロビー・ホール天井や和室天井での雨漏り等が発生している。具体的対策をどう講じていく考えであるか。
		2. 遊休農地の周辺に及ぼす悪影響対策について	遊休農地では、雑草が繁茂し、害虫、害獣が生息し、病原菌のコロニーともなっている。 今、これらに起因する何らかの被害に困っている遊休農地周辺耕作者に対して何らかの支援をすべきではないか。これらの悪影響対策について、どのように考えているか。
		3. 荒廃農地解消に向けた、本市独自の取り組みについて	令和2年9月議会の一般質問の答弁で「協働のまちづくり」の理念を取り入れて、農業従事者、土地所有者、JA、農業委員会、行政がそれぞれの枠を超えて、みんなで知恵を出し合い、協力して解決を目指す「(仮称)荒廃農地検討委員会」の設置に向け、前向きに検討することであったが、その後の取り組み状況は。

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 2	新政南アルプス 村松三千雄	1. 中部横断自動車道の山梨・静岡県全線開通について	<p>(1) 道路計画が示されてから、中部横断自動車道を活用した計画や取り組みが成されてきたが、8月29日に全線開通したことにより、信越方面への展開を含めた、新たにより具体的に本市のまちづくりへの活用施策・方向性を示していく必要があると考えるが、市の考えは。</p>
			<p>(2) 新型コロナウイルスでダメージを受けた生産者や事業者を支援するため、山梨・静岡県で始めた「バイ・ふじのくに」。本市では、昨年からいち早く連携交流を打ち出し、物産交流を積極的に展開してきた。 中部横断自動車道の活用により、静岡県との連携で培った経験やノウハウを活かし、広域経済連携を長野県や新潟県にも広げていければと思うが、市の所見は。</p>
		2. 地域おこし協力隊支援事業の取り組み状況について	<p>(1) 平成24年度より開始した本市の「地域おこし協力隊支援事業」は、都市部に生活の拠点を置く住民を、農業技術の習得と地域の行事等に参加することを通じ、農業の新たな担い手として育成し、地域への定住・定着を図るとしている。そこで、支援事業が農業の担い手不足の解消と、地域の活性化に繋がっているか、市の所見は。</p>
			<p>(2) 本市の支援事業は、「農業活動と地域行事への参加」に特化しているが、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくためにも、例えば、本市の魅力の発掘・開発・発信や、地場製品の生産・加工・開発、市民の生活支援、まちづくりなど、活動支援メニューの拡大により地域への定住・定着を、さらに図る必要があると考えるが、市の所見は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
13	躍進会 野中国幹	1. 小笠原橋架け替え工事について	<p>(1) この度、長年の懸案であった小笠原橋架け替え工事について、県から地域関係者に対し工事に向けた作業報告が資料により提示された。そもそも小笠原橋の架け替えは旧櫛形町時代から再三にわたり、国・県に陳情して来た経緯があり、資料等には実施時期など記載されていないものの、令和3年5月以降から詳細設計を行い、用地測量・用地交渉等の経過を経て工事着手に入るとの内容である。この間、地権者等に用地説明会を回っていくとの内容のみ配布されたと伺っている。小笠原橋は、旧国道・県道・市道といった交通の要衝であり、旧櫛形町時代には関係する用地について、一部用地買収を行い早期実現に向けて協力してきた経緯から、地域住民の期待と工事着手は、この上ない喜びと感じている。そこで、工事の関係について市はどのような立ち位置にあるか。</p> <p>(2) 小笠原橋は、南アルプス市の中心部に位置し、かつては「駿州往還」としての主要な街道の橋梁とも言える役割を担ってきた橋である。このような時代背景から、この地域は甲斐源氏とよばれる源氏の一流が拠点とした「源氏の里」であったことが知られている。この一族である「加賀美遠光」の次男とする「長清」が本拠地として館を移し「小笠原長清」と命名し、鎌倉時代を築いた「源頼朝」の信頼も厚く、勢力を伸ばしていったと伝えられている。さらに、長清の子孫により弓馬に堪能な家柄として活躍され、「流鏑馬」とする儀礼が残されている。一方、「小笠原流礼法」も長清の子孫である「小笠原長時」や「小笠原貞慶」らによって、小笠原家の由緒へと立ち返り、伝授されて来たと言われている。また、現東京都小笠原村も小笠原長清の末裔によって発見されたと言いつたが、定かなところは文献にもない、しかし、小笠原という名前や小笠原諸島は現在も生きていることは確かな証である。こうしたことを生かすためにも小笠</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
13	躍進会 野中国幹	2. 橋梁対策について	<p>原橋架け替えに伴い、橋梁の「親柱」若しくは「欄干」等に「小笠原長清」に関わるモニュメントを設置し、後世に残していくことを地域住民から強く望む声があり、市として県へ要請していくことは必要と考えるが、その見解は。</p> <p>本年6月に山梨県は県内の市町村が管理する橋梁で、老朽化に伴う早期の補修が必要とされる橋の数が、248カ所あるとの報道がされた。県では5年以内をめどに補修箇所に対して整備要請を行ったとのことであるが、本市の中で補修が急務とされる248カ所の中に含まれる橋梁の対策は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
14	躍進会 三枝守和	1. カーボンニュートラル（脱炭素）について	<p>(1) 8月初旬から大雨の日々が続き、日本各地に大きな被害をもたらし、地球温暖化が如実に現れた現象であった。幸いにして南アルプス市には大きな被害もなく安堵した。そこで、年々被害が発生し温室効果ガス等の影響を受けやすくなることが想定されることを考えると、本市の「脱炭素」に向けた取り組みはどのように検討しているのか。</p> <p>(2) 国の温暖化対策推進法に基づき、二酸化炭素（CO2）やメタンおよび代替フロンなど温室効果ガスの種類別削減目標のほか、地方自治体や企業あるいは家庭等が取り組む具体策として、住宅の省エネ促進や太陽光発電システムが推奨されている。このようなことから、個人住宅においては建築取得費用がかさみ、若い建築主においては悩みの種となっている。そこで、このような法整備に伴う建築支援として補助金制度の構築はできないか、市の見解は。</p> <p>(3) 2021年7月、環境省は2050年までに、温室ガス排出、実質ゼロの実現に向け、地方自治体の施策を支援する新たな交付金の創設を唱えている。改正地球温暖化対策推進法に基づく再生可能エネルギー事業の「促進区域」を増設し対策を加速させる方針である。このようなことを受けて、甲斐市では「DSグリーン発電甲斐合同会社」を設立されたと聞いている。本市においてもバイオマス発電に伴う資材は豊富にあると考えますが、企業誘致の観点からも企業の育成に関わっていく考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
14	躍進会 三枝守和	2. 農業薬剤費の助成について	<p>桃せん孔細菌病防除薬剤費の助成については、今年度初めて生育期の助成が実施され、異常気象の関係ともいえる大雨の気象状況にも関わらず、生育が順調に経過し生産・出荷量も前年比（8月7日時点）107%と伸長した。これは休眠期・生育期の一体的助成措置の成果が大きく表れたものと考ええる。したがって、来年度も桃の生産向上に向けて、継続した助成措置が必要と考えるが、市の見解は。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
15	公明党 河野木綿子	1. テレワーク事業の推進に向けた取り組みについて	<p>(1) 本市がこれまで推進してきたテレワーク事業の取り組み状況と今後の考えは。</p> <p>(2) 子育てや介護等によりフルタイムで働けない女性や今後の障がい者就労支援も視野に入れ、テレワークで働くことが出来る地域を目指し、具体的なテレワーク事業を本市で行う考えは。</p> <p>(3) ひとり親家庭向け支援である高等職業訓練促進給付金の給付対象の拡大や新規での就労訓練中の住宅費の支援を利用した女性デジタル人材、ひとり親の職業支援を活用したテレワーク事業の推進の考えは。</p>
		2. 性的マイノリティーへの支援策について	<p>令和元年6月議会において、心と身体の性別が一致しない性同一性障がいの方に対する理解と安心して生活できる支援を訴えた。そこで、研究し検討する課題であった中学校での制服の選択、同性パートナーシップ承認について、その後の本市の考えは。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
16	小林敏徳	1. 市長の発言について	6月の一般質問で、「昨年11月に実施された市議会議員選挙で市長が行った行為が地位利用に当たり公職選挙法に抵触するのではないか」と質問した。その時の答弁で、訂正する箇所はないか。
		2. 旧完熟農園について	7月26日の議員説明会で、旧完熟農園の企業募集の説明があった。昨年度は「新型コロナウイルスの蔓延で企業のマインドが落ちているので」として募集を延期した。今年の10月より企業募集するとしているが、企業のマインドは好転してきたのか。